

L

a Vie De Bohème

1992年ベルリン国際映画祭国際批評家賞受賞

アキ・カウリスマキ監督作品



ラヴィット・ボエーム

親しき友と愛しき人と、やるせなき巴里、うたかたの夢。

ボヘミアンの画家、作家、作曲家。心やさしき三人組の気ままな日々を、悲恋の涙も甘く切なく、仕掛けにとんだきらめく映像で描いたカウリスマキのモダン・ノスタルジー！



監督・脚本・製作 アキ・カウリスマキ 原作 アンリ・ミュルジェール「ボヘミアン生活の情景」より
撮影 ティモ・サルミネン 録音 ヨウコ・ルンメ 美術 ジョン・エプデン 衣裳 サイモン・マレー 編集 ヴェイッコ・アールトネン 音楽 ダミア・セルジュ・レジアニエ 製作総指揮 クラウス・ヘイデマン
出演 マッティ・ペロンパー、イヴリヌ・ティディ、アンドレ・ウィルムス、カリ・ヴァーナネン、クリスチーナ・ムリーリョ、ジャン＝ピエール・レオー、ライカウ
1992年/フィンランド/モノクロ/ビスタサイズ/1時間43分/配給 株式会社シネセゾン 後援 フランス大使館 協力 東京日仏学院/ユニフランス フィルム インターナショナル Sputnik OY
共同製作 Pyramide Production S.A./Films A2/The Swedish Film Institute/Pandora Film GmbH 協賛 The Finnish Film Foundation/The Nordic Film and Television Fund

ラヴィト・ボエーム

ラブロマンスの熱い溜息と、夢みる想いの切なさが、モノクロームの哀愁漂う巴里に、いま甦る!



■本年2月に開催されたベルリン映画祭において最高傑作と絶賛を浴びたアキ・カウリスマキ監督待望の最新作。古き良き時代を彷彿とさせる巴里に生きるボヘミアンの画家と作家と作曲家、そしてその恋人たち。彼らのうたかたの日々を、まるで影絵のような繊細な光と影の中に描き出し、流麗なカメラワークで切ない情感を淡々とうたいあげた、この夏屈指の話題作である。

日本では、「真夜中の虹」「レニングラード・カウボーイズ・ゴー・アメリカ」「マッチ工場の少女」「コントラクト・キラー」の四作品が公開されているが、登場人物の転落物語を独特のユーモアをまじえて描いた過去の作品から一転し、今回は思いきりセンチメンタルに、銀幕夢幻の「カウリスマキワールド」の新境地を拓いた。ロートレックやユトリロの絵画に面影を残す芸術村、モンマルトルを舞台に想定し、実際には急速に変貌するパリ市内に失望したカウリスマキが、パリ効外に理想を見出し撮影に臨んだ。音楽もまたダミアやセルジュ・レジアニといった往年のシャンソンファンをうならせる選曲で情感を盛り上げており、日本の観客には特別なお楽しみも隠されている。



■ロドルフォは、アルバニアからやって来た画家。作家のマルセルが家賃不払いでアパートを追われ、途方に暮れて入った料理店で二人は出会う。意気投合し、マルセルが我が家へ案内してみれば、そこには次の住人、音楽家のジョナールが居座っていた。かくして三人のボヘミアン生活が始まる。芸術のためにすべてを捧げ、いつも貧乏なその日暮らしの三人組。やがてマルセルは新聞王をだまして雑誌の仕事を手に入れ、ロドルフォにも資産家のパトロンが見つかった。ある晩、ロドルフォはアパートの隣の部屋の前で眠っている美しい女性ミミを見つけて恋に落ちる。しかし、まもなく不法在留が発覚して強制送還されてしまった。しばらくして、やっとパリに戻ったロドルフォは、金持ちの男といふミミとやり直す。昔の仲間とその恋人たちもまじえて甘い幸福に酔うのもつかの間、貧乏暮らしに疲れた女たちは去り、ミミも前の恋人のもとへ戻る。時は流れ、満たされぬ想いをかかえて暮らす三人のもとへミミがやって来た。が、彼女はすでに不治の病に冒されていた…。



■原作は、プッチーニの有名なオペラ「ボエーム」と同一で、カウリスマキ監督は「原作を台なしにしたプッチーニへの復讐を込めてこの映画を撮った」と言っている。フランスの小説家アンリ・ミュルジュールの代表作「ボヘミアン生活の情景」がそれで、カウリスマキ監督は随所に吹き出すような会話を散りばめ、原作の持つ楽しさを充分に引き出している。「ボヘミアン生活はパリにしかない」という原作者の言葉に従い、15年も企画を温めた後、念願の映画化を果たした。キャストは、ジム・ジャームッシュの「ナイト・オン・ザ・プラネット」で注目株のマッティ・ペロンパーがロドルフォ役に、また「コントラクト・キラー」に続いて出演のJ=P・レオーや、フランス映画界の巨匠ルイ・マルとカルト的人気を誇るサミュエル・フラの友情出演も映画ファンにとっては嬉しい目配りである。



La Vie De Bohème

7月中旬より夏休みロードショー! CINE VIVANT

特別鑑賞券1,400円 絶賛発売中!

当日一般1,700円・学生1,400円(税込)

特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場にてお求め下さい

連日	12:00	2:20	4:40	7:00
----	-------	------	------	------

シネ・ヴィヴァン・六本木

地下鉄六本木駅下車一番出口WAVE地下1階
お問い合わせ ☎03(3403)6061 ●自由席定員制・入替制